五城目町広報

発行及び編集人
秋田県五城目町役場
総務課
電話（五）501～5
印刷所　湖東印刷

県体レスリング
国体準備に華やかに開催

九月三日より四日間に亘る、第十一回県民体育大会は全県一斉に蓋を開き、当町で主管するレスリング大会も九月四日より華々しく開始された。

今回の県体は、来年秋開催される国体に準ずる極めて重要な意義をもつ大会であるので、地元側としても昨年夏開催の高校レスリング大会に準じた諸般の準備を整え九月三日夕刻五城目第一中プラスバンドによる、町内行進を、皮切りに大会の幕を、堂々と切って落した。

第一日は県アマレス会長小玉正己氏を迎え地元側町長議長始め顧問参与全員の出席と町民大多数の参列を得て、簡潔な中にも、厳粛な開始式を行ない、引継いで、予選試合に移った。

全県より選り抜きの一般および高校約百余名の選手たちは、五城目町の誇る五城目第一中体育館で力一ぱいの熱戦を繰りひろげ第一日を一件の事故もなく無事に終了した

続いて第二日目は午前十時より直ちに競技に入り選手たちは、全身汗にまみれて終日敢斗を続け観衆も声援を惜しまなかつた。

最終日の九月六日は前日までに勝残った、精鋭選手の決勝リーグ戦が行われ、手に汗を握る激斗が続けられて午後二時二十分全試合を無事終了、直ちに終了式表彰に移り十五階級に亘る選手を厳粛に表彰、かくして三日間に亘つた県体レスリングは、静かに幕を閉じた

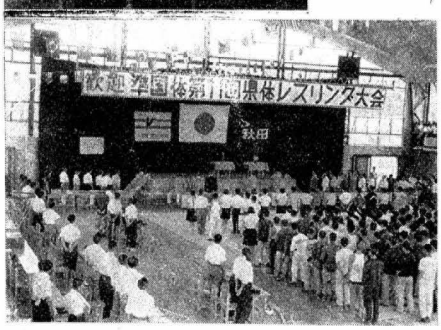
このたびの大会は、五城目一中および五城目高校プラスバンドの全面的な協力を得て、誠に国体さながらの、式典効果を深め特に最後に選手たちを送る、螢の光の吹奏の際は参加者全員に言い知れぬ、深い感動を与えた

又三日間を通じて、意外な程熱心な観衆を迎えて、当局側としは、感謝に堪えない次第である。

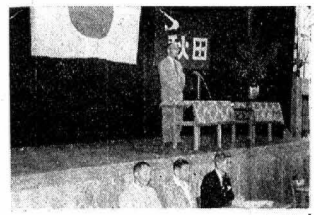
県のアマチュアレスリング協会でも、年毎に向上する観衆のレスリングに対する認識に深い喜びと力強さを感じているようである。

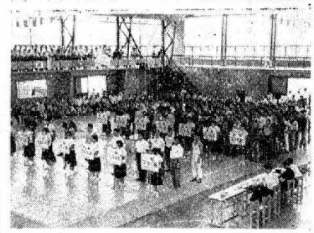
最後にこの大会を通じて各方面から頂いた御支援御協力に対して心から謝意を表し併せて来年秋の国体開催に対して尚一層の御協力を期待するものである。

特に会場となった五城目一中の職員生徒さん方の終始変らぬ御協力くに対し重ねて深い感謝を捧げるものである。



写真…上は会場前の歓迎アーチ
下は開会式の風景





手…選手　挨拶の迎歓場長　加賀谷町長
入場式風景　下…熱戦を展開する一面

九月臨時町議会開く
～高千部落に簡易水道施設～

五城目町議会九月臨時議会は九月五日会期を一日として開会された。

県体開催の最中である為急を要するので次の案件が議決になつた。

議案第七五号五城目町簡易水道施設について（給水区域富津内中津又字高田、字千目）

議案第七六号水道特別会計才入才出追加更正予算（工事請負費三、六四六、八五〇円、施設費一二、一五〇円）

議案第七七号指名競争入札によることの同意を求めることについて（五城目町営簡易水道高田、千目地区施設工事）

報告第七号寄付採納について（金額三三一、三二八円、目的五城目小学校PTA会）

報告第八号寄付採納について（寄付物件テレビ壹台價格五五、〇〇〇円目的大川小学校備品、寄付者大川農業協同組合）

以上本議会はほとんど簡易水道の件でありこれは永続事業であるので水道特別委員会に附託され慎重に審議の上に可決になつたものである。

成果をあげた
移動町民室

町では七月下旬から稲かり前までの農閑期を利用して、農村部の部落、青年会、婦人会等に呼びかけ希望によつて移動町民室を開催したが七月二十日の下樋口部落をトツプに、現在まで十五箇所でひらき、参集した町民も延五百人を超えるに至つた。

移動町民室は直接町民から率直な声を聞いて、それを町政に反影させることゝ現在の町政執行の状況を説明して町民の理解と協力を一層高めることを目的として実施しているが、各部落とも地域住民から建設的な意見や要望が数多く出されて、町政に対する積極的な態度が見られ大いに効果があつた。

役場ではいまゝでに各部落から出た百二十余の各種の問題を関係各課別に分類し、その内容について充分検討を加え、できる限り町民の要望を満たすよう進めている。

【写真】移動町民室風景（高千）

新農業委員研修会開催

来る十二、三日の両日にわたり秋田県農業会議の主催で、新農業委員研修会が五城目町役場に於いて開催されることになつた。

これは、全県で五城目町のほか、四会場に別れて、行われるが、その目的として、農業委員の資質の向上と委員会運営の適正化をはかるため、委員に対し所掌事務の遂行上、心要な知識の修得を目的としているもので、五城目町には、南秋田郡男鹿市、山本郡の委員約百名余が参集することになつており、その盛会さが予想される。尚当日の研修科目として

①農業委員使命
②農業委員の農地事務と当面の農地問題
③近の農業問題
④農業委員会の活動と今後の在り方

以上、四科目にわたり進められるが、それ〻テキストを配布し、講議、研究討議などを行い、内容の充実をはかることになつている。

納税組合長会議開催

納税貯蓄組合は町財政

納税貯蓄組合は町財政の健全化のため大きな推進力となつておりますがこれが強化をはかる意味から左記日程により、地区別に組合長会議を開催されますので是非ご出席下さるよう望んでいる。

記

日時	地区名	場所
九月十二日午後二時	馬場目地区	もと馬場目出張所
〃　〃	富津内地区	もと富津内出張所
九月十三日午後二時内	川地区	もと内川出張所
〃　〃	大川地区	大川出張所
九月十四日午後二時内	五城目地区	役場会議室

お知らせ

（行事と諸会合）

◇サービス向上運動促進懇談会＝九月十日の予定於役場
（商工環者代表婦人団体青年会等約五十名）

◇大川地区バス路線開通打合＝九月中旬於大川出張所

◇納税組合長会議＝九月十二、十三、十四日の三日間に各地区毎に開催する
（納税組合長会員）

◇養豚組合設立総会＝九月十三日於役場（全町養豚者約二〇〇名）

◇共同募金割当会議＝十月上旬各地区ごとに開催する
（各地区婦人会役員募金協力員）

◇国勢調査説明会＝九月十二、十三日於中央公民館（国勢調査員約八〇名）

◇国民年金制度の説明会＝九月十二日一時於了賢寺（古寺）
（各種機関団体の長約二〇〇名）

◇みやげ品検討会＝九月十五日の予定於役場
（商工会代表菓子組合約二〇名）

◇サービス向上運動促進懇談会＝九月十日の予定於役場
（商工環者代表婦人団体青年会等約五十名）

◇大川地区バス路線開通打合＝九月中旬於大川出張所

◇都市計画用地買収打合＝九月中旬於役場
（関係者約三〇名）

◇米の多収穫審査＝第一次九月十日～十五日第二次九月二十五日～三十日調査範囲は全町

◇米づくり日本一の多収穫審査＝九月十七日～二十五日五城目内川大川地区のうち四箇所

◇稲の作況調査＝九月十八日頃の予定農業委員会の委託調査で全町を調査する

◇牛の臨時検査＝九月十日～十月六日各地区へ巡回実施する日時場所は追って通知する

田沢湖水害義援金品の結果

八月三日の集中豪雨は田沢湖地区一帯を襲い、その被害は四億七千万円を超え且つ死者四人、行方不明十三人を出し罹災者の惨状は目を覆わしめるものがあり誠に同情にたえませんでした。

この被害に対し九月五日までに住民課に寄せられた慰問の金品は次のとおりです。

記

一、五城目町仲町小森本店、新品衣料品及靴ランドセル等合計二十一点壹万壹千壹百八拾円相当
二、大川婦人会（会長小銀啄代氏）壹千四百五拾円
三、馬川小学校職員生徒一同壹千拾五円
四、大川小学校職員生徒一同壹千九百拾円
五、杉沢中学校職員生徒一同五百五円
六、富津内西小学校職員生徒一同壹千九百拾五円
七、富津内東小学校職員生徒一同壹千六拾七円
八、杉澤小学校職員生徒一同壹千壹百四拾円
九、大川中学校職員生徒一同壹千六百八拾円
十、馬場目中学校職員生徒一同壹千壹拾円
十一、馬場目小学校職員生徒一同壹千壹百四拾円

納税を済んで
明るい僕の家

郷土芸能など披露
戦没者追悼式 盛会にして壮厳

五城目町戦没者追悼式は去る八月三十日午前十時半から、五城目小学校講堂を式場とし、遺族来賓など約六百名が参加して盛大に催された。

当日は前夜から十六号台風の予報があり、早朝からの豪雨で、参集する遺族の難儀などを気遣われたが、午前九時頃から天候も回復し、全地区から続々と参集した遺族は五百三十名に達した。

開会十分前から往時を追想する曲がマイクを通して奏でられ、係員に導かれて遺族が入場して着席続いて来賓六十名と主催者、僧侶が着席して十時三十分、のろしの合図とともに開式された。

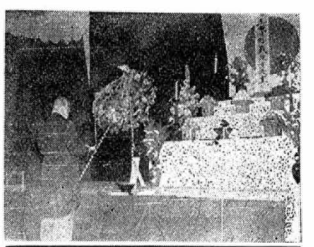
まづ国歌斉唱に始まり、仏式による十名の僧侶の行章奉仕があり、続いて加賀谷町長と知事代理から追悼のことばが述べられ、遺児代表の内川中学校生徒、沢田石礼子さんの北満の広野に散華した父をしのぶ追悼のことばには、今更なら感がいを新たにして涙を拭く遺族も見えた。

続いて遺族全員の焼香が行われ、五城目第一中学校生徒のブラスバンドによる「みたまを讃える歌」が演奏され、遺族代表笹尾長氏の謝辞が述べられ、最後に主催者加賀谷町長から丁重な挨拶があつて正午十分前に式を閉じた。

三十分の休憩後直ちに会に移り参集者全員に酒と赤飯が配られ五城目第一中学校生徒有志による「佐渡おけさ、秋田おばこ」等の民謡踊り、ブラスバンド演奏、大川西野部落の有志が演ずる「番楽」など数々の余興が行われ盛況裡に午後二時終了した。

【写真…郷土芸能に拍手を送る遺族】

【写真…上は五中ブラスバンド 下は遺児代表の沢田石さん】



【写真…上は加賀谷町長追悼の言葉 下は西野部落の「番楽」】

順調に工事進む
都市計画 山の手線街路

既報のとおり「山の手線」線道路改良工事は、去る七月指名競争入札をした結果、入札額四百五十万円で猿田専三郎氏に落札決定し、その後猿田組の手によつて鋭意工事が進められているが、幸い好天続きで順調に進行している。

また、この工事の入札の結果生じた設計額と落札額の差額と事務費の一部を充当して、工事量を延長し、今年十二月末までには人工乾燥場前の県道取付点から火葬場線まで、巾員九米の砂利道が施設されることになつた。

三十六年には国体レスリング大会が開催されるので、諸般の状況からみて、今後一層の工事進捗をはかるため、先ごろ加賀谷町長が上京の際に施設事業費（線上工事）百八十万円の補助金を獲得すべく陳設省と交渉の結果これまた許可を得たので明三十六年九月末までには、第一中学校の通学道路交叉点まで完成出来る明るい見通しがついている。

【写真…工事進む山手線】

みんなで収穫期の防犯運動を行いましょう

毎年収穫期には農村の手薄に乗じて、押売、乞食や、空巣、野荒などの盗犯を始め、忙しさの余り幼児の監督をなおざりにした、死傷事故や弄火などが多く発生する傾向にありますので互に次の点に注意し農繁期の防犯運動を行いましょう。

① 押売、乞食などの防止

農繁期には老人や女子供が留守居をするので、これらが手薄に付込んで乞食や不良品の押売が村落に入り勝ですが乞食にはみんなが申合せて米や金をくれないこと、又見知らぬ行商人からは、はつきり断り幼児の監督をなおざりにした、死傷事故や弄火などが多く発生する傾向にありますので互に次の点に注意し農繁期の防犯運動を行いましょう。

② 空巣、窃盗、野荒等の防止 この期間中は日中は留守勝で夜は疲れて戸締を忘れ勝になるため盗犯が多く発生しています。

お互に留守の時は隣近所へよく連絡し戸締を完全にすること、夕夜休む前は洗濯物や、農機具などもみんな家の中に入れて戸締を忘れないように致しましょう。又被害のあった時はなるべく早く最寄の駐在所へ届けて下さい。

③ 子供、監督は充分に

忙しさの余り子供の監督をおろそかにして、水死、列車妨害、交通事故など災難や、子供の火遊びから毎年火災がこの時期に発生しが居りますので、幼児には注意し合いましょう。

④ その他秋になると多額の現金が農家に入るため、これを目当ての不正品の売込み行われ勝ですから欺まされないように心掛けると共に一年中の収穫代金を盗まれることのないよう農協、銀行などの往復についても、「スリ」にかゝらないよう充分御注意下さい。

（五城目警察署防犯係）

◇国民年金に関するテレビ放送があります

九月十一日午後十時四十分から十一時十分までNHK総合テレビの時間には年金を中心とした放送がありますから広く聴取されるよう望みます

町民の声

町政モニターの第二回目が八月三十一日締切り分まで行われましたのでその中から代表的な意見を引きはなします。

作品に伸びを見せ、審査員は勿論一般観覧者の目をうばうものがあり、洗練されたデザインと新しい材料を活かして使用した点など地方色を脱した都会向きの製品として推奨された。

入賞者は次のとおりである。

▽工業技術院長賞

県工業振興展代理 伸びた本町の家具

八月三日から五日間能代市停城第一小学校で開催された、県工業振興展に本町から家具一〇点刃物七点桶類二点出品したが、特に家具は、断然他を引きはなした。

作品に伸びを見せ、審査員は勿論一般観覧者の目をうばうものがあり、洗練されたデザインと新しい材料を活かして使用した点など地方色を脱した都会向きの製品として推奨された。

入賞者は次のとおりである。

▽工業技術院長賞

収納セット 斉藤金八

▽魁新聞社賞

飾ダンス 石井弧太郎

▽知事優秀賞

整理ダンス秋山与一郎

衣装ダンス 原田鉱一

▽知事優良賞

整理ダンス室野鉄五郎

▽知事奨励賞

洋服ダンス 長谷川豊

漬物桶 五城目桶協組

原田氏の整理タンス 中小企業庁長官賞受く

北日本中小企業展覧会が郡山市で開催され、本町から原田鉱一氏整理タンスを出品したが、非常に優れた作品で家具としては最高の中小企業庁長官賞をかく得し五城目タンスの真骨を発揮した。

発展となる事は固結して行い、調員の基盤固めの事業は中止すべしすることによつて一般人の知識が向上すると思う。又出品者を入れた出品物に対する座談会をもつこと。

（農業男二十代）

③ 昨年までの産業祭は農産物は平年並の出品品が見られましたが、五城目特産である木工品の出品が年々うすれてゆくようなので、木工展示会を見出木市に切り換えて小電業者を招くことによつて業者り奮起をうながした方がよいではないでしょうか

（会社員男二十代）

② 出品された品がどういう所が良くて等がついたものか一等とはこういう物かと見てくるだけです。そこでその出品物の長所短所を明記

③ 会議の時間の厳守については新生活運動の一つとして大いに叫んでおりますし、町当局としても定時に行つても見をおしらせします。

④ 町民がもつと行きやすいようにしてもらいたい。町民室にも入りやすくしてもらいたいのと、職員と町民ともつと親しみがほしい。

（職員のサービス）は

① 一部の人達を除き大変好感がもてる。女子職員は凡ね不鷄切である

② 政党々派にとらわれず公平な而も町民久遠の福勅力であることは言うまでもありませんが、この

原田氏の整理タンス 中小企業庁長官賞受く

北日本中小企業展覧会が郡山市で開催され、本町から原田鉱一氏整理タンスを出品したが、非常に優れた作品で家具としては最高の中小企業庁長官賞をかく得し五城目タンスの真骨を発揮した。

発展となる事は固結して行い、調員の基盤固めの事業は中止すべしすることによつて一般人の知識が向上すると思う。又出品者を入れた出品物に対する座談会をもつこと。

（農業男二代）

③ 昨年までの産業祭は農産物は平年並の出品品が見られましたが、五城目特産である木工品の出品が年々うすれてゆくようなので、木工展示会を見出木市に切り換えて小電業者を招くことによつて業者り奮起をうながした方がよいではないでしょうか

（会社員男二十代）

10月1日に 国勢調査が行われます

今年は国勢調査の年で来る10月1日現在で全国一斉に国勢調査が実しされます。その概要は次のとおりです。

1 国勢調査の趣旨と沿革

国勢調査は統計法に基いて行われる国のもつとも大がかりな、そして基本的な調査であり全国の人口約9300万人を洩れや重複のないよう正確にしらべ、国や地方の政治、行政を民主的に行うために、欠くことのできない基礎資料となるのです。

国勢調査はその第一回調査を大正9年に実し、以後10年目ごとに大規模調査を、その中間の5年目にあたる年に簡易な方法による調査を行つております。

今回行われる昭和35年国勢調査は10年目にあたる大規模調査になつています。

2 調査の範囲、方法、及び期間

昭和35年10月1日に国内に住んでいる人全部であり、日本人は勿論外国人もすべて調査されます。たゞし日本に駐留する外国軍隊の軍人軍属や家族と外交団は調査から除外されます。

調査の方法は、総理府統計局が都道府県、市町村の組織を通じて行い、実地調査では全国約43万人の調査員が全国に配置され、各世帯を訪問して調査に当ります。調査はまず調査日10月1日前、9月24日から30日までの間に調査員から各世帯に調査票が配布され、10月1日後に調査員が再度訪問するときまでに記入しておくよう各世帯の人に依頼することになつています。

3 申告義務と秘密の保護

国勢調査は統計法に基いて行われるものであり、統計法では調査結果の真実性を確保するため全国民に対し正確に申告することを義務づけていると同時に、調査従事者に対して申告者の秘密をかたく保護するよう命じており統計表を作ること以外に用いてはならないことになつています。

夏期農民講座終る

テーマは肥料と養豚

☆…去る八月二十三日五城目町主催の夏…☆
☆…期農民講座が役場会議室で開催され…☆
☆…た当日は三十二度の炎暑にもかゝわ…☆
☆…らず一三〇名の多数が出席し、午前…☆
☆…十時から午後四時まで熱心に聴講し…☆
☆…盛会であった。

肥料は合理的に施すことは大切なことであるといわれるがどうすればよいか。今年の肥料の施し方を反省しながら、来年の肥料購入計画の資料とすべく、なおまた来年度町の重点施策として中家畜特に養豚を奨励するが養豚経営の基礎知識を習得させることも大きなねらいとして、午前十時から正午まで稲の生理からみた肥料の施し方をテーマに、県農業試験場八郎潟分場技師三浦昌司氏が講義し、今後の養豚経営について県畜産課技師野沢謙氏がそれゝ講義し午前中から五時間にわたり受講者に多大の感銘を与え講座を終了した。

各講師の講義要旨は次のとおりである。

◆稲の生理からみた肥料の施し方　三浦技師）

肥料が稲自体がどの時期にどれだけ必要としどう吸収するかが問題点である。窒素は活着期一乃至二週間と出穂期以後は必要でないから、この時期に稲に吸収されない肥料のやり方が必要である。窒素は表面にほどこす程肥料が流れるから全層施肥をすゝめる。穂肥の追肥は絶対必要なものでなく稲の状態により若干長の点窒素肥料と逆である。冷害地に燐酸が不足すると減収の度合が大きい。

加里については生育の始めから終りまで続いて稲は要求する。奥つからも必要であり加里もやはり基肥に金量ほどこすことがよい。燐酸、加里を効かすには根を充分発達させることが大切である

◆今後の養豚経営について　（野沢技師）

秋田県は稲造りは名人で関心もあるが、こと畜産については関心が非常にうすい。畜産の考え方も昔は使役の畜産であった。現在では現金収入を得る用畜に変り、さらに飼育の頭数を多くする規模拡大の方向に進みつゝある。

農業全体の収入を挙げるためには、家畜自体の収入もあげるべきである。

養豚経営のコツは、その年の相場により、五年後、十年後の姿で平均してプラスかマイナスかを検討すべきで、年間平均して売れる飼育が大切である。養トン組合設立した場合第一の仕事はある一定の時期に販売ブタが集中しないよう出荷調節することが組合の大切な仕事であり、計画的に出荷させるには一定の計画に従つた種付を行い仔ブタの生産につとめることである。これは組合員の販売價格と結びつくのである。家畜に於いても薬品と飼料の進歩により、多頭飼育が可能となつた。人工乳が市販されブタのバタリー飼育はこの例である。ブタを肥らすつは殆初の四十キロ（十一貫）まで高級な飼料で飼えばそれ以後は粗末なものでも順調に育つが、最初組食させると四十キロ以後いくら与えても日数の問題になる。豚舎の作り方は、ブタは寒さより暑さに弱いから涼しく夏向きに開放的な作り方をすることが大切である。

上水道 配管工事進む

上水道布設工事は既報のとおり第二期工事に入つたが、工事は順調に進捗し目下配管工事の最中である。

大川地区の本管埋設も近く完了するので続いて馬川地区に着手し最後に町部に埋設して十二月には待望の通水を開始すべく業者を督励している。

【写真…大川地区の配管工事】

農村青年研修視察

九月七日　東北農試外

農村青年指導者を、水稲及畜産試験研究機関の、各種比較展示ほか、家畜の飼育管理の実際と、飼料作物栽培状況を現地で研修視察し、帰町後これらを参考にして、部落農民の農業改良指導の中心となつて活動していたゞく目的のため、九月七日経済課石井係長外各地区から三名あて、農協推進の実績及び方法を検討の大曲市の、東北農業試験場と、神宮寺の県畜産試験場の二ヶ所を研修視察を行い、午後七時五十分帰町した。

産業祭など話合う

農業指導者連絡会議

八月十日午後二時から役場会議室に於いて町内の農業団体指導係職員で構成する農業指導者連絡協議会を開催したが、主なる協議事項は次のとおりであつた。

◇　産業祭について

開催の時期は十一月三日の文化の日を利用した前後四日間が適当である内容は農業を主として商工との綜合産業祭とすること。会期中農業及び商工関係の座談会を催し、農業振興の場とするよう企画立案し、早目に細部の発表を行うこと。今年去る八月二十四日から二十七日まで、第八回新農村建設中央青年研修会が、農林省七階ホールに於いて開催されましたが、五城目平担地域農村振興協議会より推せんされ八月、十三日出発致し、二十四日から直ちに研修を受けました。

秋田県より三十五年度新規に農林漁業地域として指定になつた町村より六名出席し、午前十時開会、農林大臣挨拶、農林省振興局長増田盛氏を始め各講師の講演や、現地見学など四日間有意義な研修を終えました。

各講師は曲り角にきている。農村休賀改善或いは現在の農政と今後の農村建設をテーマにこう演され次の点には特に力を入れてお話されました。

第一に新農村指定は今年で終了するが、現在までの指定町村について農業政策の進展を省りみると、進歩的な農村は数少ない。新農村指定当時だけその意欲がみられるがその後は先細りである。

新しい農村の体質改善の動向がみられないと語りこれでは現在の農民が新農村建設事業とは一体なんであるか。町村指導者及び農協等がよく反省してもらいたい。

農業生産者である農民が職業利潤つまり儲ける考えが劣るからで、他の産業に較べてただ農村は土地があるため、安定しておるような考えでないだけで、我々農村の姿を、町当局及び農村指導機関がもつと我々農民の農政問題と取り組んで貰いたい。

農林省は今後農民の所得倍増の点について、新農村指定町村をよく研究診断し、今後の農業政策を建てる方針であるといつております。

良い品種、良い種子はみなさんの経営を豊かにすることから、種子の買上及売渡は重点制を採用すべきである。

農家に品種の認識をたかめるため品種別の特性のチラシを配布し種子更新の啓蒙指導を行うこと。

幸い平担地指定町村であるが故に、町当局と農民とを密にする機会をつくり、農家の考えを新しい方向に切替えるべく指導して貰いたい。

中央でいろ〳〵良いことを考えても農民の考えが封建的ではこの社会に進歩はありません。

我々農家の社会教育を高め新らしい経営の受入対策を作らなければ、他の産業と肩を並べて行くことが出来ない。口ではいい共同化とか言つておりますが、今後考える必要問題は、前時代的協同性格の全く違つたものでなければならない。

今までの不備等をみつけ出し体質の改善運動に力を入れて貰いたいと思います。

村づくり中央研修会に参加して

五城目農協青年部長　上樋口　伊藤　博

1900の獣魂を慰め

31日神式で挙行

【写真…獣魂祭の風景】

町営屠畜場の第二回獣魂祭は、去る八月三十一日午後三時から杉ヶ崎家畜センターの「獣魂之碑」の前で、主催者加賀谷町長をはじめ来賓として木村議長、今村保健所長ほか多数参列して神式によつて行われた。

屠畜場の開設によつて最近の生活の安定に伴う食生活の改善に重要な蛋白源の供給施設として大いに利用されているが、この屠畜場は一昨年開設以来昭和三十四年度中の実績をみると牛馬八三三頭、ブタ九八九計一〇七二頭を処理しており大半は地元に於いて消費されているが、一方供給する方面の家畜についてみれば年間一〇七二頭のうち五城目町から生産された家畜は三五%程度で、今後の中家畜飼育を大いに期待している。

☆　☆

牛馬一七四頭、豚一七三七頭計一九一一頭を処理し夏冬平均して利用されている。

お知らせ

◇レントゲン撮影は必ず受けて下さい

町では県公衆衛生課の協力で九月一日からレントゲンカーで地区ごとに結核検診を実しております。町民の皆さんの便宜をはかつて数十ケ所で行いすでに実した地区では良好な成績です。

明るい住みよい町から結核を無くすために、おとしよりから赤ちゃんまで一家そろつて必ず検診をうけられるよう望みます。

なお日程は実しする四五日前にチラシでお知らせします。

◇町税の督促状が発送されます

町税の納付については常に格別の御努力をいただいております。納期を過ぎた左の町税について督促状発送されますので督促状発付の分については手数料二円のほか納期の翌日から納付の日まで税額百円につき一日三銭の割合で計算した延滞金を徴収されますから未納してる方は速納付して下さい。

固定資産税（一期）4月30日（二期）7月31日
国保税（一期）5月31日（二期）7月31日
軽自動車税4月30日
町民税（一期）6月30日（二期）8月31日

なお督促状を発付した日から十日を経過しても納付されないときは国税徴収法の例によつて財産差押えの処分をうけることもあります。

◇採種圃種子の申込受付

近く本年度の採種圃産種子の申込入を各農業班長を通じて申込書を差上げますから九月三十日までに申込入して下さい。（採種組合から）

新商工会発足す

会長　坂谷八十治氏

商工会等に関する法律による新しい商工会がこの程発足し初代会長に坂谷八十治氏が決定したいまゝでの商工会は任意団体であつたが新しい商工会は法人として組織するため今年度は個人出品を建前とした。

2 山間と平担の二ブロック制採用

小ブロックは低位生産地の増産意欲の向上を理想とするが、昨の向上を実績とするが、昨年の実績から

1 個人出品制の採用

従来のグループ出品はたゞたんに出品のときの組合せで当初考えた植付前からのグループ制の趣旨に添わないものが大部分であつた。

なお又個人で出品意欲があつても組合せる相手がなく出品意欲を阻害されたため今年度は個人出品分を変更した。

2 出品方法及審査区分を変更した。

従来のグループ出品の結果、出品方法及審査区分を変更した。

◇採種圃事業について

審査に難点がありかつ霜村地域による収量差は山間と平担の二つに分けるとやゝ平均するので恣地及富津内落合より東側と湯ノ又、浅見内、小倉山間部とそれ以外の平担地の二ブロックとした

会長　坂谷八十治
副〃　石井金之助
〃　加藤蕊　吉
理事　坂谷市右工門
荒川勇市郎　石川謙一郎
宮田清三郎　長谷川定作　米田力之助　石井松三郎
石黒秀雄　菅原国次郎　山崎真太郎　松橋長蔵　工藤順司
監事　島崎東蔵　草皆貞　伊藤重雄

公民館だより

全町体育祭を開催

18日新装なつた第一中学校グランドで

五城目町ではこのほど全町の体育祭を行なうべく色々な機関と協議した結果次のような内容によつて行うことになつた。

当日はハろしによつて開会を知らせるほか、開会式には鳩や風船をとばすなどして大会気分を盛り上げる予定であるので町内部落区から多数参加されるよう望んでいる。

◇第一回全町体育祭開催員会

館五城目町中央公民館内五城目町各地区公民館

五才未満 三〇〇M

二六才～三〇才 一〇〇M

五、日時 九月十八日（日）午前十時（たゞし雨天の場合は無期延期とする）

六、会場 五城目第一中学校新グランド

七、参加申込期日および申込先 九月十四日（水）正午まで五城目中央公民館へ申込みのこと

八、競技実施具体案は次の通りである。

具体案

一、競技種目

◎三〇～三〇才男子 三〇〇M競走

◎三〇～三〇才女子 一〇〇M競走

◎来賓競技

◎スプーンレース三一才以上男女 五〇M

◎年令別リレー男子小学生 一〇〇M

中学生 二〇〇M

五才未満 一〇〇M

二六才以上三〇才まで 八〇米

◎清掃競走 三一才以上女子 八〇米

◎豆入れ競走 四〇才以上八〇米

◎夫婦二人三脚 二六才以上男女

◎俵かつぎリレー 年令制限なし 四〇〇米

◎タバコリレー 二〇〇米

◎パン喰い競走 小学校入学前の子供

◎来賓競技

二、マスゲーム 婦人会青年会による民謡踊（満月音頭、生保内節）フォークダンス（マイムマイム、コロブスカ）の公かい演技

三、参加資格 町民であれば誰でもよい。たゞし居住している町内部落区からの出場である

四、優勝した町内部落区には町長杯二、三位には楯を授与するその他参加者には参加賞を与える賛援団にも優秀なものには賞を与える

五、その他町内部落区の対抗とするたゞし三〇戸に満たない町内部落区にあつては隣接する町内部落区と一本になることができる。

三日間に亘る敬老会

該当者 五七〇名

本町の敬老会は九月十五日の老人の日を中心にして、老人各位を地域ごとにお集りねがつて、深い敬意と感謝の誠を示し長い人生の足跡を回顧しながら、生きるよろこびを共々に語り合うたのしい日とする。

式典のあと幼稚園児、小中学校生徒、青年会、婦人会等の遊戯、舞踊、唄等で老人をお慰めする日程および各地区該当者数は次のとおり。

▽五城目十五日（木）

一時三〇分＝五城目小

▽馬場目十四日（水）

十一時＝馬場目小

▽杉沢十四日（水）

一時三〇分＝杉沢小

▽富津内十六日（金）

十時＝富津内西小

▽内川十六日（金）

一時三十分＝内川小

▽大川十五日（木）

一時＝大川中

（七十才以上）

五城目男一〇一、女一四一

馬場目 三四 六二

富津内 三五 五五

内川 二九 三四

大川 二七 五〇

（八十才以上）

五城目男 一二 二二

女 七 一九

馬場目 三 一二

富津内 一 四

内川 四 一一

大川

馬場目

五城目 斉藤 礼治 90

斉藤 喜市 90

村上 ユミ 88

斉藤安五郎 87

沢田石カン 94

富津内 椎名 和助 93

原田 ヨシ

内川 松橋清之助 80

沢田石ヌワ 82

松橋 フミ 82

大川 小玉長太郎 85

佐藤 チヨ 85

伊藤シュン 85

長藤 トメ 85

町章 町民の歌 新五城目音頭の応募数79点

13日に審査会

かねて町民一般から應募いたゞいておりました町章、町民の歌、新五城目音頭の作品はこのほど中央公民館へ取りまとめた結果、應募者四一名、作品数七九点の多きに達しました。

この應募にあたつては遠く湯沢市からの應募もみられ、新しい感覚からこびとなるわけであります。

なお入選発表は修作の関係などあつて今月の下旬の予定です。

けんらんたる假装

五連青盆踊大会盛況

五城目町連合青年会主催連合盆踊り大会はさる二十三日五城目町下タ町通りにおいてひらかれた

この日会場の下タ町通りは約四百名の踊手がいづれもいろとりどりの趣向をこらした仮装で出場附近町村からおしかけた観客を楽しませた。

結果は次のとおりである。

◇青年会の部

一位馬場目青「五城目音頭」宮城サイ子ほか九名

二位一席馬川青「夕凉み」舘岡キミ子ほか十三名

二席、富津内「船方音頭」大石恵美子ほか十四名

三位一席大川青「素踊り若衆」島嶋久雄ほか十一名

二席内川青「白馬童子」松橋武ほか十七名

三席大川青「おけさ」金子光吉ほか十三名

◇一般の部

一位昭和町「ゆかた踊」菅原道行ほか十一名

二位一席五城目婦人会「森山音頭」佐藤ミネほか九名

二席五城目「佐渡の恋歌」渡辺正己ほか四名

三位一席井川「旅芸人」菅原由美、千田幸子

二席大川「佐渡おけさ」佐藤礼子ほか七名

三席藤堂町「御神火娘」石井サチ子ほか七名

【写真…道路を埋め尽した盛況の盆踊】

佐藤 誠一（相撲）

一関 信夫（馬川）

石川 堅悦（馬場目）

越高 悦雄（馬場目）

（柔道）

加藤 金光（森）

笹川 兼一（大）

小野寺三郎（森）

（合唱）五城目

米田サツ子、渡辺扶佐子

渡辺 聰子、伊藤 光子

伊藤ヒロ子、鈴木 則子

菅原 由美、千田 幸子

八木下久美子、伊藤聖子

佐藤シゲ子、渡辺 昭子

加賀谷ヒロ子、舘岡 清

加藤 桂一、大原 国夫

柴田 豊、川上 武雄

村上鉄次郎、菊地 亮二

（演劇）

舘岡 金男、舘岡 降一

本間 政武、猿田アツ子

鳥井 昭子

公民館だより

国体を迎える研究会を開催

明るい県民生活研究集会

12日中央公民館で

要項

一、趣旨 国体の開催を来年にひかえ全町民こぞつて健民運動に参画し、スポーツに対する関心を高めるとともに全町民が一堂につどい融和親睦を計ろうとするものである。

町民待望の五城目第一中学校グランドもいよ〳〵竣工を見、これを記念し併せて開催する。

二、主催 五城目町

五城目町教育委員会

三、協賛 五城目町体育協会

五城目町体育指導委員会

県民の生活をいつそう明るいものにするために人間関係をいろ〳〵な角度から検討し、来年の国体をむかえるにふさわしい生活態度をつくりあげようとするために、このほど次の要項により開催いたしますので、関係者多数の参集が期待されている。

一、目的(イ)社会生活における人間関係（公衆道徳）の問題を掘り下げ、気持よい生活をおくるためにどうあればよいかを心理的な関係から研究討議する。

(ロ)商店、飲食店、旅館業員、客との関係について研究討議する。

三、主催秋田県教育委員会

秋田県新生活協議会

第16回国民体育大会

秋田県実行委員会

五城目町教育委員会

後援県陸運事務所

県商工会連合会

県乗合自動車協会

秋田県県民民運動協議会

五城目町中央公民館地区協議会

四、期日九月二十一日（水）

五、会場

五城目町中央公民館

六、内容

1講義

「秋田県民の生活態度」

講師県新生活協議会 早川 園子氏

2部会研究

(イ)公衆道徳部会

(ロ)商店、飲食店、旅館部会

3映画

4合同研究

七、参集者

1交通運輸業関係者

2接客業 サービス業関係者

3青年会婦人会員

4教育委員会 団体関係者 社教関係者 学校教職員

【写真…幼稚園の給食を試食するお母さんたち】

第14回全県青年体育文化祭

派遣選手決る

九月十、十一日秋田市で行なわれる、全県体育祭と、十七、十八日本荘市での文化祭に出場する選手をこのほど五城目町連合青年会では次のとおり決定した。

陸上競技

一〇〇米萩原幸美（富）

四〇〇米一関十郎（五）

一、五〇〇米 畠山春三（富）

五、〇〇〇米 大原次夫（五）

スエーデンリレー

萩原幸美、阿部孝順、大原次夫、一関十郎

走巾跳 小林武義（富）

走高跳 小玉武彦（五）

砲丸投 大原長雄（富）

六〇〇米 荒川恒子（五）

一〇〇米 沢田石ツエ子（内）

走巾跳 島井幸子（大）

走高跳 伊藤降子（富）

砲丸投 金野貞子（馬場）

四〇〇米リレー荒川恒子 島井アサ子、沢田石ツヤ子、島井幸子

二〇〇米阿部孝順（内）

八〇〇米三浦金市（馬川）

一〇、〇〇〇米工藤信彦（森）

八〇〇米おき原幸美、阿部孝順、三浦金

二〇〇米鳥井アサ子（馬川）

（バレーボール）内川

石井 セツ、松田ナミ子

目黒悦子、沢田石カヨ子

石井ツルエ、松橋チヱル子

畑沢 洋子、小玉 ノブ

沢田石光子、石井ミヱ子

沢田石洋子、石井 榮子

（卓球 五城目

四〇〇米リレー荒川恒子 島井アサ子、沢田石ツヤ子、島井幸子

（剣道）大川

佐藤久兵ヱ、工藤 勉

受講者へ修了証授与

スポーツレクリエーション、リーダー講習会を実施、

このほど五城目第一中学校においておこなわれたスポーツレクリエーションリーダー講習会は、受講者七〇名の多きを数え、とくに婦人会員の参加が大半を占めた。

講師の県体育課指導主事渡辺忠雄氏から、理論と実技を懇切ていねいに指導をうけた。

受講修了者には修了証を授与したが、これは今後のスポーツレクレーション活動をよりよく地域におしすゝめるためのリーダーとなるようとするためである。

育英資金についてのお知らせ

五城目町育英会では現在育英資金貸与生子二名に一ケ月六百五十円づつ支給しております。